

大丈夫 (可能) 掌を右側に向け五指の指頭を左胸に直角につけ(兼指中指人差指の三指の指頭が胸につく)次に右胸につける。

「可能」の意味。「とをすることが出来る」「私にはそれが出来る」の「出来る」

大臣 政治」男性或は女性(稍々高くさし上げて)表わす。

大切 大事な 右手の掌を反対側の左回にすれすれに向わせ(五指の指頭は後方にさし掌は右側になっている。)左右に頬を打つばかりに小さく運動させる。如何にも頬にさわらぬように「大事にする」「大事な」とばかり気を配った表情で手まねする。

大層 大へん 「少し」の手まね(即ち人差指の指先僅かに残したところに同じ手の親指の指頭をつける)をして、親指の指頭を入差指の根元までずらせて行く。

体操 両手を前に突き出したり、左右に突

き出したり等して体操の身振り。

怠惰 掌を内側にした右手の人差指と中指の二指を横にして鼻の下にびったりつけ右頬へ斜めにすり降す。「怠ける」の意味。鼻下を長くして、鼻汗を横なでしただらしなさを表わしたものが。

大体 「大方」と同じ手まね。

滞納 納める(金を前に出す) | 怠ける
| 忘れる

代理 「代り」(変わる) | 延期
| 人(男性或は女性)

大部分 「大方」と同じ。

大砲 掌を上に向けて五指を彎曲させた左手を下に、掌を下に向けた五指を彎曲させた右手を上にして向い合わせ左右に引き離して行き(大砲の砲身の円筒状を模写)次に左手をそのままの姿態に置いて、その掌の中へ右手の拳にしたのをさし入れて(弾薬をこめ

る)その拳を左手から前方へ突き出して五指をばっと開く(発射)

大役 厄介な(面倒な)「握り拳で頭のことめかみの辺りを叩く」——責任

太陽 夫々の人差指と親指を半円形に(人差指は上親指は下に)曲げた左右両手を向い合せ(形にして円の大きさを表現したを)上の方へさし上げる。

代用 代りー用いる。



倒れる 上向けた左手掌の上に、右手の人差指と中指の二指を指頭で直角に立てて(人が二本の脚で立つ姿)、その手を横倒しにする

互いに 掌を内側に指頭を上にした人差指と親指の両手を

手首のところでX形に交叉して「一緒」「同じ」の手まねの要領で夫々両手の二指の指頭を同時につけ合わす。

沢山 「多い」と同じ手まね。

だけ 「唯一つ」と同じ手まね。

竹 掌を前向け人差指と親指で輪にした右手(他の三指は伸ばしたまま)掌を内側にし人差指と親指で輪にした左手(他の三指は右手と同じ)。この左手を斜め上に、或間隔を置いて右手を斜め下にして、離して行く。途中二度ばかり手の運動をとめては続ける。(竹の幹の細長い形状と途中運動をとめるのは竹の節)

竹藪 竹くさむら叢

章魚 掌を下に向けた左手の手甲の皮膚を右手の五指でつまみ、左手の五指を章魚の足のように不規則に交互に動かす、上の右手は章魚の頭部。